

# 市議会

令和元年  
(2019年)

# 8

第150号

## だより

ラグビーワールドカップ  
日本大会まで  
あと50日!!



▲ワラビーズとの交流の様子



写真：GETTY IMAGES (c)

### 表紙写真について・・・

小田原市はラグビーオーストラリア代表チームのトレーニング拠点になっています。今年9月中旬にはラグビーワールドカップの代表「ワラビーズ」(上写真中、黄色のユニフォーム)が小田原でキャンプを実施します。

目次	
正副議長・監査委員の選出	2
常任委員・議会運営委員の選任	3
6月定例会議決の結果	5
常任委員会	6
賛否一覧等	8
一般質問	9
議会トピックス	16



 小田原市議会

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/citycouncil/>

# 奥山孝二郎議長・大川裕副議長を選出 議会選出監査委員には鈴木美伸議員

就任のごあいさつ

議会改革のさらなる推進へ

あります。

さて、本市議会ではこれまで、開かれた議会を構築すべく、議会改革を推進してきましたが、今後さらに改革を推し進めるため、大きく二つのことに着手したいと考えております。

しかし、これに甘んずることなく、さらに議員の政治倫理や道徳規範に対する意識の向上を目指したいと考えております。

## 守りの議会から 攻めの議会へ

二つ目は、議会のチェック機能を十分に発揮することです。

議会は、行政が行う事務をチェックする機能として、調査権や検査権を行使することができま。これらの権利を今以上に積極的に活用し、委員会においてさらに慎重、かつ十分な審査をしていきたいと考えております。

一つ目は、議員の政治倫理や道徳規範に対するコンプライアンスの向上です。昨今、議員の職にある者の問題発言や行動が、度々報道で取り上げられるのを目にいたします。小田原市議会における政治倫理や社会的なモラルについては、各議員の良識に委ねられているところであり、近年、大きな問題は生じておりません。

また近年、行政が執行する事務は、その仕組みや効果、与える影響など、非常に複雑化しているため、市政の重要な案件では、その分野の専門家の知見を活用することも必要であると考えております。これらの制度を活用しな



大川 裕  
第71代副議長



奥山 孝二郎  
第63代議長

## 議員としての より高い倫理観を

市民の皆さまには、日ごろから市議会に対しまして、ご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。 私たちはこのたびの令和元年5月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。 私たちにとりまして誠に光栄であり、その責任の重さを痛感しているところで

がら、真摯に議論を重ね、「守りの議会から攻めの議会へ」を標榜し、市民の皆さまの負託に応える小田原市議会を目指していく所存ですので、これからも市議会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

## 議会選出監査委員



鈴木 美伸  
監査委員

市の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理が適正に行われているか監査するため、本市には3名の監査委員がおり、そのうち1名を市議会議員から選出しています。今回新たに、鈴木美伸議員が、議会選出の監査委員として選出されました。

# 委員会の構成 (委員の並び順は議席番号順)

※掲載内容 ①名前 ②住所 ③電話番号 ④年齢(8月1日現在) ⑤当選回数 ⑥会派名

## 総務 常任委員会

議会議務局、企画部、総務部、市民部、防災部、環境部、消防本部、監査事務局の所管に属する事項および他の委員会の所管に属しない事項



委員長

- ①俵 鋼太郎  
②南町3丁目7番12号  
③0465-22-8794  
④58歳  
⑤4回  
⑥新生クラブ



副委員長

- ①鈴木 和宏  
②早川92番地  
③0465-23-0899  
④50歳  
⑤2回  
⑥誠風



- ①川久保 昌彦  
②蓮正寺958番地の5  
③0465-46-6483  
④60歳  
⑤1回  
⑥志民の会



- ①池田 彩乃  
②成田444番地の1  
R K コスモピア303  
③0465-25-2806  
④42歳 ⑤1回  
⑥誠風



- ①奥山 孝二郎  
②東町1丁目9番16号  
③0465-35-3622  
④61歳  
⑤5回  
⑥公明党



- ①井上 昌彦  
②栄町3丁目8番10号  
③0465-22-5026  
④54歳  
⑤3回  
⑥誠風



- ①武松 忠  
②小八幡3丁目4番40号  
③0465-49-3572  
④53歳  
⑤6回  
⑥志民の会



- ①岩田 泰明  
②栢山970番地の3  
③0465-37-0624  
④37歳  
⑤1回  
⑥日本共産党



- ①杉山 三郎  
②矢作170番地の3  
鴨宮ハイツ201  
③090-8680-1591  
④71歳 ⑤3回  
⑥無会派

## 厚生文教 常任委員会

文化部、福祉健康部、子ども青少年部、市立病院および教育委員会の所管に属する事項



委員長

- ①鈴木 敦子  
②根府川185番地  
③0465-29-0233  
④55歳  
⑤3回  
⑥志民の会



副委員長

- ①篠原 弘  
②小台322番地の5  
③0465-38-2288  
④67歳  
⑤2回  
⑥誠風



- ①小谷 英次郎  
②鴨宮616番地の5 202  
③090-1704-3176  
④38歳  
⑤1回  
⑥新生クラブ



- ①荒井 信一  
②扇町3丁目17番5号  
③0465-34-7097  
④59歳  
⑤1回  
⑥公明党



- ①角田 真美  
②南町3丁目5番29号  
③0465-22-3078  
④52歳  
⑤1回  
⑥誠風



- ①安野 裕子  
②下堀133番地の17  
③0465-42-2720  
④69歳  
⑤5回  
⑥志民の会



- ①楊 隆子  
②酒匂4丁目5番35号  
③0465-47-0013  
④55歳  
⑤3回  
⑥公明党



- ①横田 英司  
②南鴨宮2丁目15番2-603号  
③0465-44-4511  
④61歳 ⑤1回  
⑥日本共産党



- ①加藤 仁司  
②中村原400番地  
③0465-43-0628  
④57歳  
⑤7回  
⑥誠風

## 建設経済 常任委員会

公営事業部、経済部、都市部、建設部、下水道部、水道局および農業委員会事務局の所管に属する事項



委員長

- ①木村 正彦
- ②矢作374番地
- ③0465-36-4400
- ④72歳
- ⑤3回
- ⑥志民の会



副委員長

- ①神戸 秀典
- ②国府津2384番地の5
- ③0465-46-8852
- ④47歳
- ⑤2回
- ⑥誠風



- ①清水 隆男
- ②蓮正寺540番地の54
- ③0465-37-4578
- ④54歳
- ⑤1回
- ⑥新生クラブ



- ①金崎 達
- ②城山3丁目25番5号
- ③0465-87-9132
- ④54歳
- ⑤1回
- ⑥公明党



- ①宮原 元紀
- ②鬼柳92番地の10
- ③0465-37-6111
- ④39歳
- ⑤1回
- ⑥誠風



- ①鈴木 美伸
- ②早川3丁目7番地の9
- ③0465-22-9486
- ④67歳
- ⑤5回
- ⑥志民の会



- ①鈴木 紀雄
- ②浜町4丁目24番5号
- ③0465-22-4539
- ④70歳
- ⑤3回
- ⑥新生クラブ



- ①大川 裕
- ②扇町2丁目14番16号
- ③0465-35-0912
- ④54歳
- ⑤3回
- ⑥誠風



- ①田中 利恵子
- ②扇町1丁目6番2号
- ③0465-35-5389
- ④65歳
- ⑤6回
- ⑥日本共産党

## 議会広報広聴 常任委員会

議会の広報および広聴に関する事項

委員長 鈴木 和宏 (誠風)

副委員長 荒井 信一 (公明党)

川久保 昌彦 (志民の会)

鈴木 敦子 (志民の会)

池田 彩乃 (誠風)

角田 真美 (誠風)

俵 鋼太郎 (新生クラブ)

岩田 泰明 (日本共産党)

### 常任委員会とは

本会議で審議される議案等は、テーマが多岐にわたるため、効率的な議事運営のために、分野ごとに常任委員会を設置し、詳細な審査を行っております。

本市議会では、4つの常任委員会を設置しており、議員は議会広報広聴常任委員会を除く常任委員会のうち、いずれか一つの常任委員会に所属しています。

## 議会 運営委員会

議会の運営および議長の諮問に関する事項

委員長 井上 昌彦 (誠風)

副委員長 鈴木 紀雄 (新生クラブ)

楊 隆子 (公明党)

神戸 秀典 (誠風)

篠原 弘 (誠風)

木村 正彦 (志民の会)

武松 忠 (志民の会)

田中 利恵子 (日本共産党)

## 新病院建設のための基本計画策定へ

老朽化・狭あい化した市立病院の早期建て替えに向けて、新病院建設事業基本計画を策定します。



# 6月定例会注目議案

病院事業会計補正予算では、新病院建設事業基本計画策定のため、委託料3千万円（3年間の継続費で総額は9千万円）の補正予算を可決

**問** 各年度における予算は、どのような業務内容を想定して算定したのか

**答** 業務は大きく3つに分かれており、令和元年度には、病院の機能・規模の検証等をする基本計画策定支援を、2年度には基本計画策定支援に加え、精度の高い事業費を算出するための予備設計図書作成支援を、3年度には、設計者等を選定するための発注仕様書を取りまとめる、設計者等選定支援といった業務内容を想定している。

## ミッドナイト競輪実施に向けて

小田原市競輪事業の今後の方針を見極めるための経営改善策の一つとして、ミッドナイト競輪の開催を検討しています。

小田原競輪の今後に向けた  
検討会議

収支改善策の検討

ミッドナイト競輪の開催

その他の検討案  
・民間包括委託  
・ガールズ競輪



**問** ミッドナイト競輪の開催により、収支はどのくらい改善するのか。

**答** 競輪場内に観客が入場しないので、車券発売などの開催経費を削減できる。現在開催しているFIIグレードの1開催分では約3千万円の赤字が見込まれるのに対し、ミッドナイト競輪では、約2千万円の赤字想定となり、振り替えることで合わせて約5千万円の収支改善を見込んでいる。



### ミッドナイト競輪とは

21時頃から23時過ぎに観客なしで開催される競輪で、インターネット等で観戦し、電話やインターネットで車券を購入します。小田原競輪場は、立地環境に配慮してナイター照明設備がないことから、実施する場合、他の競輪場を借り上げることになります。

現在、全国43施行者中、33施行者がミッドナイト競輪を開催し、うち12施行者が他場を借り上げています。

他の競輪場を借り上げてミッドナイト競輪が開催できるようにするための条例改正を可決



## 総務常任委員会

### 【一般会計補正予算】

#### 新斎場の新規進入路整備にあたり 埋蔵文化財調査を実施

本年7月から稼働を開始した新斎場に新しく設ける進入路の整備用地に、埋蔵文化財の遺構が確認されたため、進入路整備の前に発掘調査を行う。  
進入路の共用開始は、令和2年3月の予定。



発掘調査範囲が拡張する可能性はないのか。  
また、既設の進入路の扱いはどうなるのか。



試掘を行った上で範囲を特定しているの  
別の遺構が見つからない限り、これ以上範囲が広がることはない。

なお、新規進入路が完成した後は、既設の進入路は使用しない。

#### 「こんな報告もありました」

- 小田原市土地開発公社の経営状況
- 小田原市庁舎等熱源改修事業
- 津波災害警戒区域の指定

### 【指定管理者の指定について】

#### 新斎場の運営は指定管理者

民間資金等活用事業（PFI事業）の事業者として選定された「浅沼組グループ」が、選定後設立した特別目的会社を指定管理者に指定した。

団体名 小田原斎場PFI株式会社  
指定期間 令和元年7月1日  
～令和16年3月31日



▲新斎場



## 建設経済常任委員会

### 【一般会計補正予算】

#### 豊島邸の耐震等改修工事を実施

小田原駅東側にある豊島邸（いちげつあん）は1941年頃に建築された武家屋敷の名残を留める貴重な歴史的建造物で、平成27年に市民から寄贈を受けた。  
その価値と魅力を最大限に生かして活用するための改修費用を補正予算に計上した。



今後どのように有効活用していくのか。



小田原駅西側には板橋・南町地区が、南側にはかまぼこ通りがあり、歴史的建造物が多くみられるが、東側には少ない状況である。

豊島邸は観光客の回遊を促す重要な拠点として活用するため、市として行うべき耐震工事と板塀等の改修を行う予定である。

今後は、豊島邸を有効活用できる民間事業者を選定していきたい。



▲豊島邸

- 所在地：小田原市栄町4丁目9番44号
- 構成：主屋（木造瓦葺平家建）、付属屋、板塀、庭園
- 規模：敷地面積881.21㎡

#### 「こんな報告もありました」

- 一般財団法人小田原市事業協会の経営状況
- 株小田原水道サービスセンターの経営状況

# 厚生文教常任委員会



## 【一般会計補正予算】

公立幼稚園は、所得段階に応じて利用料が変わるといった「新制度移行済み幼稚園」となっているが、私立幼稚園のなかには利用料を園が独自に設定している「新制度未移行の幼稚園」が存在する。

新制度移行済みの幼稚園や認可保育施設については全額無償化となるが、未移行の幼稚園等では無償化の範囲に上限が設けられる。

	施設区分	無償化の対象及び範囲
①	幼稚園（新制度）、保育所、認定こども園、小規模保育事業	市が定める保育料（従来からの新制度対象施設）
	幼稚園（新制度未移行）	月額 2.57 万円までの利用料
②	認可外保育施設、一時預かり、病児・病後児保育事業、ファミリー・サポート・センター	月額 3.7 万円までの利用料（0 歳から 2 歳の住民税非課税世帯については月額 4.2 万円までの利用料）
	幼稚園預かり保育	月額 1.13 万円までの利用料

## 10月開始の幼児教育無償化 具体的な無償化の範囲は

**問** 新制度未移行園や認可外保育施設の無償化上限額の算定根拠は。

**答** 新制度移行済み幼稚園の利用者負担上限額、認可保育所保育料の全国平均額に基づき、国が無償化範囲を設定した。

**問** 食材料費は無償化とならないのか。

**答** 国により、保護者から実費で徴収する費用として示されていることから、本市においても実費徴収となる。

具体的な金額は現在検討中である。

### 「こんな報告もありました」

●公益財団法人小田原市体育協会の経営状況

## 【一般会計補正予算】

穴部公民館の老朽化に伴う建替え工事費に対し、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を財源とし、当該公民館を管理する穴部自治会に1500万円の補助金を交付する。

## 老朽化する地区公民館 建て替え費用等の申請要件は

**問** 地区公民館建て替えに係るコミュニティ助成事業助成金の申請要件を伺う。

また、一部改修等に対する補助はあるか。

**答** 助成金の申請にあたっては、建物の登記が必要なことから自治会の法人化、申請段階で自主財源が確保されていること（補助金は建て替え費用の60%以内、上限1500万円）、住民の合意が得られていることが要件となる。

改修等については、本市独自の補助金にて、係る費用の30%以内の額（補助対象は50万円から300万円の修繕費）を補助している。希望がある場合は、予算要求を行い、可能な限り対応できるよう努めている。

## 【一般会計補正予算】

### 城址公園内のトイレ等を整備

小田原城址公園をより快適で魅力あるものにするため、城内の看板設置のほか、本丸広場等の便所再整備等に係る設計費用、常盤木橋周辺園路等の改良のための費用を補正予算に計上した。

**問** 本丸広場、北口および遊園地内のトイレ整備についてはどのような想定か。

**答** 外国人観光客が増えているため、対象のトイレを全て洋式化し、城に合った壁のデザインや床のバリアフリー化も検討している。

また、史跡内という制約の中で、本丸広場の2か所のトイレを1か所に集約して新設できるかなど、さまざまな調査や文化庁との協議に時間を要するため、今年度は設計、来年度に工事としたい。



▲本丸広場内トイレ

## 令和元年6月定例会議案賛否一覽

会派名	志民の会					日本共産党			新生クラブ				公明党				誠風						無党派				
	1	2	11	12	21	22	23	24	25	3	4	13	14	5	6	15	16	7	8	9	10	17		18	19	20	27
議席番号																											
議員名	川久保昌彦	鈴木敦子	鈴木美伸	安野裕子	木村正彦	武松忠	横田英司	田中利恵子	岩田泰明	清水隆男	小谷英次郎	依木紀雄	荒井鋼太郎	金井信一	奥山孝二郎	楊隆子	宮原元紀	池田彩乃	角田真美	鈴木和宏	神戸秀典	篠原弘	井上昌彦	大川裕	加藤仁司	杉山三郎	
議案第60号 令和元年度小田原市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 小田原市自転車競走実施条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号 指定管理者の指定について（小田原市斎場）	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※賛否が分かれた議案のみ記載しています。  
 ※全議案および陳情の賛否については、ホームページでご覧になれます。



○：賛成 ×：反対

## 陳情採決一覽

件名	結果
ランダムな下校時刻の改善に関する陳情書	不採択
居場所作りの促進に関する陳情書	不採択

## 副市長の選任について

現副市長 時田光章さんの任期満了に伴う再任について提案があり、これに同意しました。

### 請願・陳情の提出について

請願や陳情は、市政について意見や要望がある場合に、市議会に提出することができます。8月26日(月)までに提出されると、9月定例会の会期中に、その内容に関係ある常任委員会等で審査されます。詳細は、市議会事務局（電話33-1761）までお問い合わせください。

### 議会傍聴について

議会では、生活に直結した重要な問題が審議されており、どなたでも傍聴できます。本会議の傍聴は、市役所4階の議会傍聴受付にて、委員会の傍聴は市役所3階の議会事務局にて、それぞれ開会の30分前から受け付けます。なお、傍聴に際しては、規則を守り、ご静聴ください。

### 市議会メールマガジンの配信について

小田原市議会では、メールマガジンの配信を行っています。議会日程、各議員の質問内容、会議録公開のお知らせなどの市議会情報をお知らせしています。右記のQRコードより登録が可能です。





## オリンピックの聖火リレー ルートの決定方法と決定時期は

加藤 仁司



**問** オリンピックのシンボルである聖火が、来年6月29日から7月1日までの3日間に神奈川県を巡る予定となっている。

一生に一度かもしれない機会であり、聖火ランナーの勇姿を多くの子どもに見てもらいたいと考えるがいかがか。また、聖火リレーのルートはいつ頃、どのように決定されるのか。

**答** 未来を担う子どもたちには、聖火ランナーの姿をできる限り生で見てもらい、オリンピックの雰囲気を感じて欲しいと考えている。

神奈川県内のルートについては、県がルート案を東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に提出、検討された後、国際オリンピック委員会に提出され、承認を経て決定となる。

時期については、本年12月に組織委員会が公表を予定している。



### その他の質問

- 市民ホール整備事業
- 小田原市橋商工会移転 など

# 一般質問

6月定例会では、23人の議員が一般質問を行い、市政に対する疑問点や将来の展望などについて、市長等の考え方を確認しました。その一部をご紹介します。

＜質問一覧はHPで確認できます＞



(※) 用語解説あり

## 会計年度任用職員制度の 目的や概要は

鈴木 敦子



**問** 来年度から「会計年度任用職員制度」が導入されるにあたり、市の臨時職員の中には、給料や雇用に関して不安を覚える方もいる。

そこで、制度の目的や概要について伺う。

**答** 会計年度任用職員制度は、国家公務員の制度に準じて地方自治体で働く臨時職員や嘱託員の採用方法、任期等を明確化するため、地方公務員法および地方自治法の一部改正により、来年4月から施行される制度である。

現在の臨時職員や嘱託員は、一般職の非常勤職員である会計年度任用職員として、給料のほか期末手当の支給や特別休暇の付与等がされるようになる。

現在、本市では新たな制度へ円滑に移行できるよう準備を進めており、今後庁内へ周知を図っていく。



### その他の質問

- 小田原市立図書館の閉館
- 放課後子ども教室と放課後児童クラブ

## 市民ホールの建設費の財源内訳と 整備基金の現状は

安野 裕子



**問** 財政が厳しくなる中で建設に踏み切った市民ホールだが、建設費の財源内訳と、6月補正予算に計上された社会資本整備総合交付金の財政への影響について伺う。また、市民ホール整備基金の寄附件数と合計金額、周知方法について伺う。

**答** 建設費約60億2640万円の財源内訳は、国庫支出金が約18億5714万円、地方債が約30億6110万円、市民ホール整備基金が10億円、一般財源が約1億2187万円となっている。

このような中、この度、社会資本整備総合交付金が約5億6844万円増額になり、これに伴い同額の本市の財政的な負担を軽減することができた。

市民ホール整備基金への寄附は、6月補正予算までの計上で35件、420万8422円にのぼる。今後も市民ホールのオープンへの機運を高めつつ、より多くのご協力が得られるよう周知に努める。

### その他の質問

- 持続可能な地域社会の推進

2市8町の中心市としての合併に対する市長の考えは

杉山 三郎



支所等の廃止と旧町村単位での地域づくりとの整合性があるか

岩田 泰明



**問** 平成18年度末に、「県西地域合併検討会」が設置され、県西地域2市8町の合併について検討が行われたが、任意合併協議会の設置には至らず、平成21年度末に解散した。

その後10年が経過し、行財政運営が一層困難となる時代が間近に迫っている中、2市8町の中心市としての合併をあらためて検討しなければならない時期を迎えていると思うが、考えを伺う。

**答** 合併は、最大の行財政改革となり得るが、現時点で、本市から他の自治体に対し合併を積極的に働きかけていく考えはない。

しかし、「小田原市・南足柄市『中心市のあり方』に関する任意協議会」での協議を通じ、行財政運営の健全性を確保するため、まずは行財政基盤の強化を優先すべきと判断し、第2次行政改革実行計画を着実に推進するべく、鋭意取り組んでいる。

その他の質問

- 中心市街地の活性化策
- 財源確保策 など

**問** 今年3月に廃止された支所等は、旧町村との合併時の合意に基づき設置されたものと考えられる。

そこで旧町村単位と重なる地域での自治的活動を奨励しながら、地域ごとの行政拠点や中核的な集会施設を撤去するのは整合性がなく、再配置する考えはないか。

**答** 支所等は施設の老朽化、利用状況等を総合的に勘案するとともに、コンビニエンスストアと郵便局での証明書発行サービス等、社会情勢の変化に合わせて行政サービスの在り方を見直す中で廃止を判断しており、再配置は考えていない。

廃止により活動の場が不足する地域には、小学校の空き教室等での代替や、地区公民館や空き家などの民間施設の利活用も調整しながら、地域の活動を支援・奨励していきたい。

その他の質問

- 富水駅前の無料自転車駐車場廃止の見直し
- 公的機関における年号表記

災害時の医療体制における情報収集と伝達の課題は

鈴木 和宏



**問** 激甚指定される地震、また、昨年<sup>げきじん</sup>の台風12号のような大型台風やゲリラ豪雨などの風水害が各地で起きている中、昨年5月に地域防災計画の見直しがされた。これにより、発災時、充実した対応が期待されるが、特に、医療体制を構築し、これを市民に周知する上での情報収集・伝達の体制と課題について伺う。

**答** 本市の災害医療における連絡体制は、災害対策本部から情報提供されることとなっているが、連絡体制の徹底や「広域災害・救急医療情報システム（通称EMIS）」<sup>(※)</sup>の活用を含め、より効率的な連絡方法の構築などが課題と感じている。

また、仮設救護所等の情報の市民への伝達に関しては、市民が混乱しないように、情報を整理して伝えることが課題であると感じている。

その他の質問

- 持続可能な林野の取り組みと森林環境譲与税の使い方
- 教育現場における働き方改革の取り組み

用語解説

《広域災害・救急医療情報システム（EMIS）》

厚生労働省が整備したシステムで、医療機関、医療関係団体、消防機関、保健所、市町村間の情報ネットワーク化および、国、都道府県間の広域情報ネットワーク化を図り、被災地における災害医療に関わる情報を、収集・提供することで、迅速かつ適切な医療・救護活動を支援することを目的としている。



## 風水害避難場所や避難ルートを見直す計画は

角田 真美



**問** 昨年夏に発生した台風12号は、小田原漁港交流促進施設の建物に大きな被害を与えるなど、本市に大きな爪痕を残した。

このように、昨今、想定を超える自然災害が増加する中、風水害避難場所や避難ルートを見直す計画はあるのか伺う。

**答** 風水害避難場所については、住民説明会や自治会対象としたの調査等を進めながら地域の意見を聞き、随時協議して見直しを図っている。

また、避難ルートについては、ハザードマップに、それぞれの家庭で具体的に避難行動を記入できる「わが家の避難行動マニュアル」を掲載し、配布することで避難方法の周知を図っている。

さらに、今年度はモデル地区を選定し、地域との協働により避難場所や避難経路等を記した地域ごとの「避難行動マップ」も作成する予定である。

### その他の質問

- 公立小・中学校での防災教育の充実

## 確実な防災情報の取得のため「防災ラジオ」の導入を

鈴木 紀雄



**問** 災害時の情報入手については、さまざま方法があるが、「防災ラジオ」は、防災情報が緊急放送されるようになっており、有用である。多くの自治体で導入が進んできている中、本市においても早期に「防災ラジオ」の導入を図るべきと考えるが見解を伺う。

**答** 防災情報は、機器の操作の必要もなく自動的に受け取れること（プッシュ型）が望ましい。

プッシュ型機器の一つである、FM電波で起動する防災ラジオは、価格も安価になってきており、本市においては、FMおだわらの難聴地域も大幅に改善されたところである。

情報伝達手段に関しては、防災ラジオを含め、他にも新しい機器が開発されていることも踏まえ、現在具体的に検討を進めている。

### その他の質問

- 一部屋耐震化補助制度等



## 広域避難所運営方法の見直しや一時避難場所の整理の必要性は

川久保 昌彦



**問** 広域避難所(※)については、発災後の治安維持の面から在宅避難が重要視されていることなども考慮し、市内画一的な運営方法を見直す必要性があると考えます。

また、一時避難場所(※)についても、廃止を踏まえた見直しが必要と考えるがいかがか。

**答** 市で策定した「広域避難所運営マニュアル作成のガイドライン」を基に、地域の特性を考慮し、25カ所の広域避難所運営委員会ごとに運営方法のマニュアルが作成されている。地域にあった運営につながるよう、市のガイドラインは随時見直す。

また、一時避難場所は、各自治会で決めた場所に避難することで、互いの安否確認ができる上、初期消火や救出救助等の活動も行えるため、廃止は考えていない。

### その他の質問

- 市職員の働き方改革
- 小田急線螢田1号踏切周辺道路等の安全対策 など

## 用語解説

### 《広域避難所》

家屋で生活ができなくなった避難者の収容施設として、長期的な生活の場となる所。



▲広域避難所一覧はこちら

### 《一時避難場所》

地震時に地域で安否確認などを行う一時的に避難する場所。あらかじめ自主防災組織ごとに定めている。



熊本地震等で注目された液体ミルク  
本市での導入計画は

楊 隆子



**問** 液体ミルクは、母乳に近い栄養素が含まれ、常温で約半年から1年間の保存が可能である。日本では安全基準がないため販売が認められていなかったが、熊本地震で注目され、その後、国内で製造と販売が認められた。

避難所などでは清潔な水や燃料の確保が難しいこともあり、災害時の備蓄品として活用すべきと考えるが、本市では液体ミルクの備蓄導入をどのように計画しているのか。

**答** 液体ミルクについては、国内メーカーにより製造、販売されていることは把握している。



粉ミルクのようにお湯を準備する必要のない手軽さから、その有用性は高いと認識している。

そのため、今年度より順次備蓄を進めていく。

その他の質問

- 食品ロス削減対策
- ごみの減量・資源化 など

主要農作物種子法の廃止による  
農業、食文化への影響は

井上 昌彦



**問** 米・麦・大豆の種子の国管理を義務付けた主要農作物種子法が廃止となった。このため種子を育成するための予算確保の法的根拠がなくなり、県等の財源状況によっては、種子生産量が減り、安定供給ができなくなるほか、特定の民間企業の寡占は種子価格の高騰を招く等の声がある。

そこで、廃止に伴う農業、食文化への影響をどう捉えているのか伺う。

**答** 種子法は廃止となったが、神奈川県による種子開発、供給体制は維持されており、本市で主に栽培されている米、「はるみ」・「キヌヒカリ」・「さとじまん」等についても、県が圃場の指定や種子の審査等を行うことで、優良な種子が生産されている。また、農業者、JAかながわ西湘等からも種子法廃止による影響はないと聞いており、本市農業、食文化への影響はないと認識している。

その他の質問

- 小田原駅周辺の違法駐車取締りに係る巡回重点地域

ペットボトルのリサイクル  
今後の取り組みは

荒井 信一



**問** プラスチックごみによる海洋汚染が問題となる中、ペットボトル等の分別の徹底、使用削減に向けた市民への啓発の取り組みについて伺う。

**答** ペットボトルを含むプラスチックごみの分別の徹底や使用削減については、広報小田原、年1回発行の情報誌「ゴミダス」、ホームページ、庁舎内や市立病院でのモニター広告、ケーブルテレビなど、さまざまな媒体を活用して啓発に努めている。

なお、ごみ処理の基本的な方針を定めた一般廃棄物処理基本計画の計画期間が今年度で終了するため、新たな計画策定を進めており、プラスチックごみの削減に向けた取り組みについても盛り込んでいく考えである。



その他の質問

- 防災対策
- 認知症対策

し尿収集業務を  
許可制にする考えは

俵 鋼太郎



**問** し尿収集業務については、事業者へ委託しており、使用者からの清掃手数料の徴収は事業者ではなく市が行っている。

このような中、し尿収集業務に対する清掃手数料の不足分は公費負担しているが、この業務を事業者の許可制にすれば、市の手数料徴収業務や公費負担分の削減が図られるなどメリットが大きいと思う。そこで、許可制に対する考えを伺う。

**答** し尿収集業務を許可制にした場合、現在、清掃手数料の一部を公費負担していることや、事業者へ料金徴収業務など新たな事務が発生することなどから、住民負担の増加が見込まれる。

また、料金滞納世帯については、し尿収集業務に停滞が生じ、地域の衛生環境に影響を与えることが懸念されることから、現行の体制を維持していく必要があると考えている。

その他の質問

- ごみ処理政策

## 市道の安心・安全対策についての取り組みは

木村 正彦



**問** 市道や通学路における安心・安全対策については、どのようなことを実施しているのか。また、歩道のある交差点での対策についても併せて伺う。

**答** 市道の安全対策としては、道路管理者によるパトロールをはじめ、自治会と市が合同で現地調査を行い、安全施設等の整備を実施する「地域安心安全道づくり事業」に取り組んでいる。さらに通学路では、カラー舗装やグリーンベルトなどの路面標示に加え、カーブミラーや注意喚起を促す看板等を設置している。

また、歩道のある交差点の安全対策としては、歩道への車両の進入防止や、巻き込み防止を目的とした車止め等の設置に努めている。



### その他の質問

- 待機児童の解消
- 空家等対策

## 誰もが利用できる交通手段確保の取り組みは

宮原 元紀



**問** 高齢者の運転免許証自主返納を促すためには、車がなくても自身の活動範囲が確保されることが重要である。そこで、コミュニティバス(※)をはじめとした誰もが利用できる交通手段の確保が必要と考えるが、本市の取り組みについて伺う。

**答** 公共交通ネットワークを担う路線バスは、利用者の減少により、路線の廃止や減便が実施されており、近隣市町ではコミュニティバスやデマンドバス(※)で補うケースも見られる。これらが交通機能を補完するための重要なツールであることは認識しているが、運行ルートの制約や利用率の低さなどが課題となっているため、まずは地域住民とともに課題やニーズを的確に捉えた上で、バス会社等の交通事業者とも協力しながら、新たな交通手段の導入について検討していく。

### その他の質問

- 自然環境の保全と再生

## 地方再生コンパクトシティ事業を持続的な取り組みに

神戸 秀典



**問** 本市を含む32都市が「地方再生コンパクトシティのモデル都市」に選定され、平成30年度から3年間、国の集中的な支援を受けている。この取り組みを持続させるには、民間と行政の協力が重要であるが、公民連携施策の状況と展開を伺う。

**答** 事業区域のかまぼこ通り周辺地区では、地元協議会との協働により、交流イベント、景観修景、空き店舗等の活用に取り組んでいる。また、南町・板橋地区では、地元住民と地域資源を生かしたまちづくりの勉強会や、まち歩き等を開催している。

なお、国土交通省主催の「公共資産利活用スクール」に関係部局の職員が参加し、民間主導による歴史的建造物等の活用について学んだところであり、そのノウハウも生かし、公民連携による地域の活性化の実現を目指していく。

### その他の質問

- 小田原市立地適正化計画
- 地場産業の活性化

## 用語解説

### 《コミュニティバス》

コミュニティバスとは、一般的に公共交通が不便な地域で、市町村やNPO法人等が事業者へ委託、もしくは自ら運行するもので、一般的には、決まった路線、決まった時間に運行するバスを指す。

### 《デマンドバス》

デマンドバスとは、コミュニティバスと同様に、市町村やNPO法人等が運行するバスの一形態で、利用者の予約した時間や場所に応じて運行する。



障がい者のための防災・減災  
本市における取り組みは

金崎 達



視覚障がい者に向けた選挙公報の  
点字化・音声化の状況は

横田 英司



**問** 平成30年12月定例会で「災害時における要配慮者の支援について」質問があったが、要配慮者には、障がい者のほか、傷病者や高齢者なども含まれる。今回はそのうち、障がい者に特化した防災・減災について、どのような取り組みを行っているのか伺う。

**答** 本市では、災害時の要配慮者緊急受入れについて、社会福祉法人や小田原養護学校と協定を締結しているほか、社会福祉法人等に対し防災資機材の整備費を補助している。

また、平成27年度には、要配慮者への支援策を定めた「災害時要配慮者支援マニュアル」の改定を行ったところであり、今後は更なる支援強化に向け、マニュアルの見直しや、障がい者一人ひとりに対応した個別計画の作成について、自主防災組織と調整しながら取り組みたい。

その他の質問

- 本市における事業承継支援の取り組み
- 自然災害に対する経済対策

**問** 視覚障がい者が候補者の情報を知る方策としては、選挙公報の点字化・音声化がある。選挙に関するいくつかの世論調査から、選挙公報が候補者を選ぶ重要な手段であることがわかる。

そこで、本市および県内他市で実施している視覚障がい者向けの対応について伺う。

**答** 視覚障がい者向けに、候補者名簿の点字版を作成し、各投票所に備え付けるとともに、候補者情報の音声版を該当者に配付等している。

県内では、本市を除く18市のうち、5市が選挙公報の点字版を作成しており、13市が音声版を作成している。

その際、選挙公報の点字版・音声版は、音訳奉仕会、赤十字奉仕団等の社会福祉団体が作成し、その団体、または選挙管理委員会から、団体の会員や登録者に配付している。

その他の質問

- 国民健康保険
- 市民ホール



本市の子どもの貧困に対する  
取り組みは

小谷 英次郎



子ども食堂の普及に向けた  
本市の取り組みは

池田 彩乃



**問** 定時制高校教員時代、貧困が教育機会を喪失させ、教育機会の喪失が貧困につながる現場に直面し、この課題は、行政において、福祉と子育て支援とが幅広く連携して取り組まなければならない問題だと痛感した。

そこで、本市における子どもの貧困に対する取り組みについて伺う。

**答** 本市では、教育の支援としての就学援助費の支給や学習支援、高校生に対する奨学金の支給を行うほか、生活支援として生活保護や児童扶養手当の支給、医療費助成などを実施している。

また、経済基盤の確保に向けた、保護者に対する就労の支援として、ひとり親を対象に資格取得の助成を行うなど、国の制度を活用するとともに、県と連携しながらさまざまな支援を実施している。

**問** 子ども食堂の普及に向け、今年度、支援の拡大を行ったと伺っているが、その支援内容と、成果について伺う。

また、今後市内各地へ普及させていくための取り組みや運営団体間の連携強化を、市はどのように考えているのか。

**答** 本市では、今年度から新たに調理器具を購入するなどの初期経費への支援や、運営経費の支援拡充を行った。これにより子ども食堂は新たに3カ所開設され、現在、市内に6カ所となった。

今後は活動の様子や支援内容について、ホームページ等で周知していくほか、まちづくり委員会等から開設希望等の情報を収集し、開設希望者には個別相談も行っていく。また、小田原市社会福祉協議会開催の連絡会に本市も加わりながら、運営団体間の連携強化に協力していきたい。

その他の質問

- 学校教育の充実
- 本市の主権者教育の現状

その他の質問

- 観光振興による経済活性化

## 子どもの命を守るため 登下校時等の安全対策強化を

篠原 弘



## スクール・サポート・スタッフで 教員の業務時間の確保を

清水 隆男



**問** 大津市園児死傷事故や川崎市児童殺傷事件のようなことが、本市でも起こり得ることを想定し、改めて現在の対策の問題点を踏まえ、子どもたちを守るという視点で、新たな対策を打ち出す必要がある。そこで今後の事故防止と安全対策強化への取り組みについて伺う。

**答** 公立幼稚園・保育園における園外活動については、今後、交通量が多い箇所での待機方法など、マニュアルの改善を図るとともに、改善したマニュアルは、私立幼稚園や民間保育所にも提供し、安全対策を呼びかけたい。

各小学校では、児童の登下校時間に合わせ保護者や地域住民が見守り活動を実施しているが、加えて「SOS！こども110番かけ込み所」(※)について、子どもたちにも一層の周知を図っていく。

### その他の質問

- 小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョン

**問** 教員がさまざまな業務に追われ、授業の準備時間が取れないという切実な声を聞く。子どもたちの教育の充実のため、授業の準備や、学級経営に集中できる時間等の確保は非常に重要である。そこで、学校における、教員でなくてもできる業務を行うスクール・サポート・スタッフ(※)の配置の必要性と取り組み方針について伺う。

**答** 教員の業務多忙化については認識しており、事務作業の負担軽減につながるサポートを担当するスタッフの配置が有効と考える。

国が進めるスクール・サポート・スタッフは、県等が国の補助により、市町村に配置する事業であるが、小中学校について神奈川県は実施していないため、県に要望をしていくとともに、市独自の配置も視野に入れ、他の事業との優先順位を踏まえながら検討したい。

### その他の質問

- 都市づくり
- 地域防災

## 幼児教育無償化の対象が限られる理由は

田中 利恵子



**問** 今年10月から始まる幼児教育無償化について、0歳から2歳児の課税世帯の子どもは、なぜ対象とならないのか伺う。

**答** 幼児教育無償化は、国が少子化対策の一環として、子育て世帯の負担軽減を主な目的としており、まずは広く利用されている3歳から5歳までの全ての子どもの幼稚園、保育園等の利用料を無償化の対象としようとするものである。

0歳から2歳までの子どもに関しては、待機児童の約9割がこの年齢であることから、まずは待機児童解消施策を優先することとしたため、当面の間は住民税非課税世帯のみを無償化の対象とした。



### その他の質問

- 待機児童解消
- 小田原市公立幼稚園・保育所の今後の在り方 など

## 用語解説

### 《スクール・サポート・スタッフ》

教師が、より児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、教師の負担軽減を図るため、文書（校外学習届・教材届・会計報告等）の作成補助やデータ入力、電話・来客対応などの他、学習プリント等の印刷や授業準備・片付けなどを教師に代わって行う非常勤職員。

### 《SOS！こども110番かけ込み所》

地域の子どもたちを事故・犯罪から保護することを目的とし、地域の各商店、事業所および民家が、子どもたちの緊急避難場所としての役割を担う。

また「110番ステッカー」の掲出などにより、防犯意識の啓発を促し、事故・犯罪の抑止力となることを期待するもの。



# 議会トピックス

## 細田 常夫氏の逝去を悼む

前小田原市議会議員の細田常夫氏（享年88歳）におかれましては、令和元年6月4日に逝去されました。



細田氏は、昭和38年の初当選以来、10期40年の長きにわたり、小田原市議会議員を務め、平成6年には第46代副議長に就任するなど、市政の発展のために貢献されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、このたび、永年にわたり地方自治の発展に貢献された功績に対し、従五位に叙されるとともに、旭日小綬章が授与されました。

また、全国市議会議長会から、議員在職40年の表彰を受けられました。

## 初当選議員研修会を実施



▲建設中の漁港の駅「TOTOOCO小田原」見学の様子

5月21日、22日の二日間にわたって初当選議員研修会が実施されました。

1日目は市議会の運営や小田原市の財政状況について講義が行われ、2日目は引き続き講義のほか、建設中の漁港の駅「TOTOOCO小田原」、お城通り地区再開発事業、小田原競輪場の施設見学を行いました。

## 9月定例会の予定

9 / 2(月)	本会議 提出議案の説明など
9 / 5(木)	本会議 議案に関する質疑 議会広報広聴常任委員会
9 / 6(金)	総務常任委員会
9 / 9(月)	厚生文教常任委員会
9 / 10(火)	建設経済常任委員会
9 / 13(金)	本会議 各常任委員長審査報告 議案の採決、一般質問
9 / 17(火)	本会議 一般質問
9 / 18(水)	本会議 一般質問
9 / 19(木)	本会議 一般質問
9 / 20(金)	本会議 一般質問 決算認定案の説明など 決算特別委員会 議会広報広聴常任委員会
9 / 24(火)	決算特別委員会（書類審査・一般会計）
9 / 25(水)	決算特別委員会（書類審査・一般会計・特別会計・企業会計）
9 / 26(木)	決算特別委員会（現地査察）
10 / 3(木)	決算特別委員会（総括質疑、採決）
10 / 8(火)	本会議 決算特別委員長報告、採決

9月定例会の一般質問の一部をJ:COMチャンネル（地デジ11ch）で録画放映します。（放映予定日9月28日（土）・9月29日（日））

## お知らせ

本会議の映像は、インターネットでリアルタイム視聴ができるほか、録画でもご覧いただけます。また、4月からはスマートフォンやタブレット端末からも視聴が可能になりました。

本会議映像配信システム

URL:<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/odawara/WebView/rd/council.html>



編集：議会広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 和宏 副委員長 荒井 信一

委員 川久保昌彦・鈴木 敦子・池田 彩乃  
角田 真美・俵 鋼太郎・岩田 泰明

発行：小田原市議会 No.150 TEL:0465-33-1761  
メール:shigikai@city.odawara.kanagawa.jp

☆次号の議会だより（令和元年11月1日発行予定）は、9月定例会の概要です。